

農山漁村の課題解決に資する インパクト・ソリューション選定企業の発表



令和7年7月16日

農山漁村における現状

- 高度経済成長期以降の社会減、2009年以降の自然減により、農業者の大幅な減少が進行
- 高齢者の引退により、食料供給や地域コミュニティ維持への影響が懸念
- 自治体による支援や地域運営組織の形成は進められてきたが、民間の関与は限定的
- 課題解決企業との接点や相互理解が不足しており、実装に至るマッチングが不調
- 成功事例に関する情報の蓄積・共有が十分でなく、再現性や普遍化に課題

発生している課題

1. 支援者が実際に支援を実行するためのインセンティブ不足
2. 自治体と課題解決企業の接点不足や互いの課題・解決策に対する理解不足等を起因とした連携の不調
3. 資金支援・人材支援等を伴った形で解決策の実装が進んでいる優良事例に対する認知・理解の不足

最終的な理想状態

農業者不足による食料供給への影響や、
集落内の総戸数減少による
地域コミュニティの維持困難等の、
農山漁村における課題が解決されていること

農林水産省×リディラバ

農山漁村の課題解決に 資する取組の地域への実装 を支援するプログラムを開始

自治体等との共創によるインパクト実現を目指す
ソリューションを「6月23日まで」全国から募集中！

選定の考え方

- 実際に農山漁村の課題を解決し、ボトルネックの解消に直結するかどうかという視点から選定。
- 個社支援ではなく、公共性の高い取り組みを支援。
- 課題解決の内容を見ていく中で、自治体や一次産業従事者の方が、具体的な活用方法や自地域の課題に気付ける機会に。

評価項目・ポイント

- 農山漁村における課題を解決できる事業・サービスを展開している
 - ① 適切な課題設定
 - ② ソリューションの妥当性
 - ③ インパクトの実現可能性
 - ④ ソリューションの継続性
- 自治体等との共創に関する実績や関心がある
 - ① 共創の実績
 - ② 共創の必要性
- その他
 - ① 組織・財務的基盤
 - ② 影響力・ロールモデル性
 - ③ 実装に向けた支援の必要性

選定企業一覧



今後の予定

- 明日17日（木）より、選定企業とのマッチングを希望する自治体の募集開始！
- 弊社がしっかりと伴走支援します。一緒に、農山漁村の課題解決を社会に実装させていきましょう！
- 自治体向けの説明会申し込みはこちらへ
<https://forms.office.com/r/JqaKyTy6Fm>

